



【特集】

技

空き家が花屋に大変身！

「古めかしい風合いをリフォームで強調」

●自分で花屋を開こう！

富山県射水市にある生花店「カントリーパパ」が開店したのは、今から四年前のこと。生花や鉢物を扱うフロアリストの高橋健一さんと、奥さんの二人三脚でフラワーギフトからイベント装飾まで手がけ、生け花教室も開催してきた。

大手生花店に勤めていた高橋さんは、当時、効率を重視せざるを得ない「大型店」ではなく、顧客とより親密な関係を築ける「個店」を開きたいと考えていた。そして国家資格の二級フラワー装飾技能士の資格を取得。独立のきっかけとなった。

●開店準備は入念に！

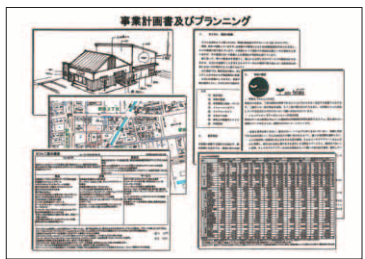
目指す店舗は、お客様が自然と笑顔になるお店。相談を受けた担当者は、マーケティングや不動産など幅広い知識を



▲リフォーム後 左の棟が花屋、右の棟は陶芸工房。



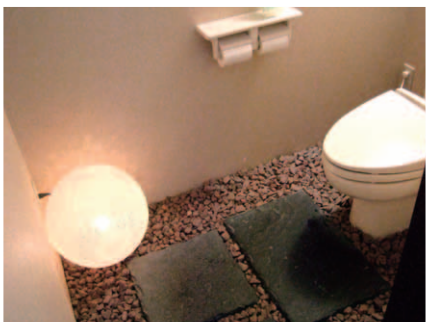
▲空き家の頃



▲事業計画書



▲屋根の補修メンテナンス工事
店舗総合保険により即座に対応。



▲トイレは一般的なスペースの2倍。
「ゆっくりできる」と評判は上々。



▲2階は生け花教室になっている。

もとの、一緒になって事業計画を検討。花屋では四〇才以上の方の利用が多いこと、射水市内での商売を希望すること、そして何より高橋さんの「お客さんに笑顔になって欲しい」という想いを十分検討し、計画に落とし込んでいった。

どんな工事でも、単に建物をつくるだけでなくお施主さんのニーズや運用コストなど二年三年先のことまで考えて準備することが、失敗しないための必須条件だ。

●選んだ物件は築五〇年

担当者が紹介した物件は築五〇年になる木造の空き家。昔なつかしい雰囲気を活かして穏やかな気持ちを引き出し、笑顔になってもらうというのだ。昔の日本の民家に広く見られた「合掌造り」という構造で、屋根裏には木の皮が幾



▲花屋店内 リフォーム前



▲花屋店内 リフォーム後



▲陶芸工房内 リフォーム前



▲白色の物体が碇子。赤色が電線。
電線は碇子で固定され、屋根下を張りめぐっている。



▲陶芸工房内 リフォーム後
担当者の提案で陶芸工房を誘致。陶芸と花を通じた地域交流の場として注目された。

●古きよき時代を連想させる内装

さて、この建物の古めかしさを、どう表現するか…。建設会社の腕の見せどころだ。担当者は、天井を取り除き、あえて構造体をむき出しにすることを提案した。「木の温もりを感じながらゆっくり観賞できると考えました。」
また、電線はビスではなく碇子で固

重にも重ねられた「とんとん葺」が見えた。イメージにピッタリの建物だった。

●まもなく四周年

今年の五月で開店四周年を迎えるカントリーパパ。顧客は一人二人と増えていき、いろいろな話をして寛いでいられる方も多いという。仕事で疲れたとき、また、心にゆとりが欲しいとき、気軽に訪れてみたいと思う。(技ネット)

定された。昔は碇子で電線を固定するのが主流で、懐かしい雰囲気がさらに強調された。

今月のオーナー訪問



カントリーパパ
代表 高橋 健一さん(右)
美佐緒さん(左)

フロアリスト

カントリーパパ

事業計画から物件調査、改装にいたるまで、本当にきめ細かくサポートしてくれました。一度台風で大きな被害を受けたのですが、迅速に対応してくれてアフターフォローにも満足しています。期待以上の建物が出来たと思います。ありがとうございました。

当店では、珍しい切り花をたくさん用意しています。他店に無いフラワーギフトはいかがですか。また、家内はトークのプロではないかと思うほど、どんなお客さんとも楽しく話しています。ぜひお気軽にお越しください。

住所／富山県射水市中野623-4
(旧R8中野バス停前緑の建物)
電話／0766516360
営業時間／午前9時～午後7時(火曜定休)
駐車場／10台



技のリフォーム

イワザ ミセマス

0120-183-304